



山梨県 子どもの心の診療ネットワーク事業

令和8年度 子どもの心に関する講演会

“死にたい”と語る子どもを 前にしたとき ー思春期の自殺対策と大人が今できることー

えとう

のぶあき

講師

衛藤 暢明 先生

福岡大学医学部精神医学教室 講師

会場

山梨県立文学館 講堂
(山梨県甲府市貢川1-5-35)

日時

2026年12月4日(金)
19:00~20:30
(18:30受付開始)



対象

教育・福祉・医療関係機関、子どもにかかわる支援者、テーマに関心のある一般の方

申込
方法

QRコードにアクセスの上、必要事項を入力してお申し込みください



主催：山梨県

受託者：地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立北病院

児童思春期は子どもから大人になるために大きく変化する時期で、心や身体のバランスを崩しやすい時期でもあります。子ども達は自分の心身の不調を言葉で訴えることが難しく、異変に気付くには時間がかかります。そのため大人が子どものサインに気付き、適切に対応していくことで、子どもの心の成長を助けることができます。近年の子どもの自殺増加は極めて深刻な課題であり、早期の「気づき」と適切な「関わり」が求められています。

今年度の子どもの心に関する講演会では、福岡大学医学部精神医学教室講師衛藤暢明先生をお招きし、子どもの抱える悩みの背景に理解を深め、大人ができる支援について学びを深める機会を持ちたいと思います。

講師略歴

衛藤 暢明（えとう のぶあき）
福岡大学医学部精神医学教室

精神科医、精神分析家、臨床心理士。2003年に熊本大学医学部を卒業、同年福岡大学医学部精神医学教室に入局。2006年より現在まで、福岡大学病救命救急センターに搬送される自殺企図者への対応を継続している。2017年4月より福岡大学博多駅クリニックにて自殺予防外来を開始。2021年4月より、福岡大学病院で自殺予防外来・自死遺族専門外来を担当。専門領域は自殺予防・自殺対策、精神分析的な精神療法、災害精神医学。

駐車場の ご案内

当日は混雑が予想されます。

お越しの際は**第3駐車場**のご利用、
乗り合わせのご協力をお願いいたします。



お問い合わせ：山梨県立北病院

社会生活支援部 武田 （TEL 0551-22-1621）